

「岐阜県みどりの少年団交流集会」を開催しました

8月10日(火)、関市小屋名の岐阜県博物館において、県内のみどりの少年団14団体162名(引率者含む)の参加を得て、平成22年度岐阜県みどりの少年団交流集会を開催しました。

メイン行事の「みどりの少年団活動発表」では、宮中学校緑化少年団、上矢作中学校緑化少年団、牛道小学校みどりの少年団、多良峡もみじ少年団の発表及び、昨年度最優秀に選ばれた上原小学校みどりの少年団の特別発表が行われ、日頃の緑化推進活動や林業体験学習などの取り組みについて元気に発表してくれました。

審査の結果は、審査委員長の野村務関市立安桜小学校長から講評の後発表され、今年度の最優秀には牛道小学校みどりの少年団(郡上市)が選ばれました。

なお、午後からの交流活動では当博物館で開催されている「川-カワ・イネ! ~流れが作り出す自然~」と題し、岐阜県の川をとりまく自然を地形、地質、生物にわたり、広く紹介した特別展などについて学芸員の方から説明を受け、有意義な夏休みの一日を過ごしました。

【(社)岐阜県緑化推進委員会 事務局長 佐藤正吉】



▲活動発表の様子



▲活動発表に聴き入る参加者及び審査員



▲熱心に展示物を見学する子ども達▲



各少年団との楽しい交流がいっぱいあったよ!



▲岐阜県から参加したみどりの少年団

「第35回東海地区みどりの少年団サマージャンボリー」を開催しました

東海三県のみどりの少年団が一堂に集い、自然の中で緑の大切さを学び、交流を深めるみどりの少年団サマージャンボリー(三重県緑化推進協会、愛知県・岐阜県緑化推進委員会、三菱UFJ環境財団主催)を、三重県伊賀市愛田地内の「大阪市立伊賀青少年野外活動センター」において8月4日(水)から6日(金)までの日程で開催しました。

今年も恒例の「東海三県みどりの少年団サマージャンボリー」を三重・愛知・岐阜の13少年団74名(引率者含む)の参加を得て2泊3日の日程で開催しました。

連日、うだるような暑さが続く中でしたが、森林に囲まれ涼しい風が吹き抜ける「伊賀野外活動センター」において、「登山」、「自然観察」、「忍者体験」などの森林体験学習のほか、「野外炊飯」、「キャンプファイヤー」などの共同生活やレクリエーション活動などを行いました。特に忍者体験では、忍者の衣装に着替え班ごとにクイズや手裏剣投げなどが盛り込まれたコースを楽しく回っていました。岐阜県からは、多良峡もみじ少年団、一之瀬みどりの少年団が参加し、共同生活を通じて活発に愛知県、三重県の少年団の子供たちと交流を深め、楽しい思い出をいっぱい持って帰宅しました。

【(社)岐阜県緑化推進委員会 事務局長 佐藤正吉】



▲忍者体験で手裏剣投げに挑戦



▲みんなでカレーライスを作りました



▲楽しいキャンプファイヤー